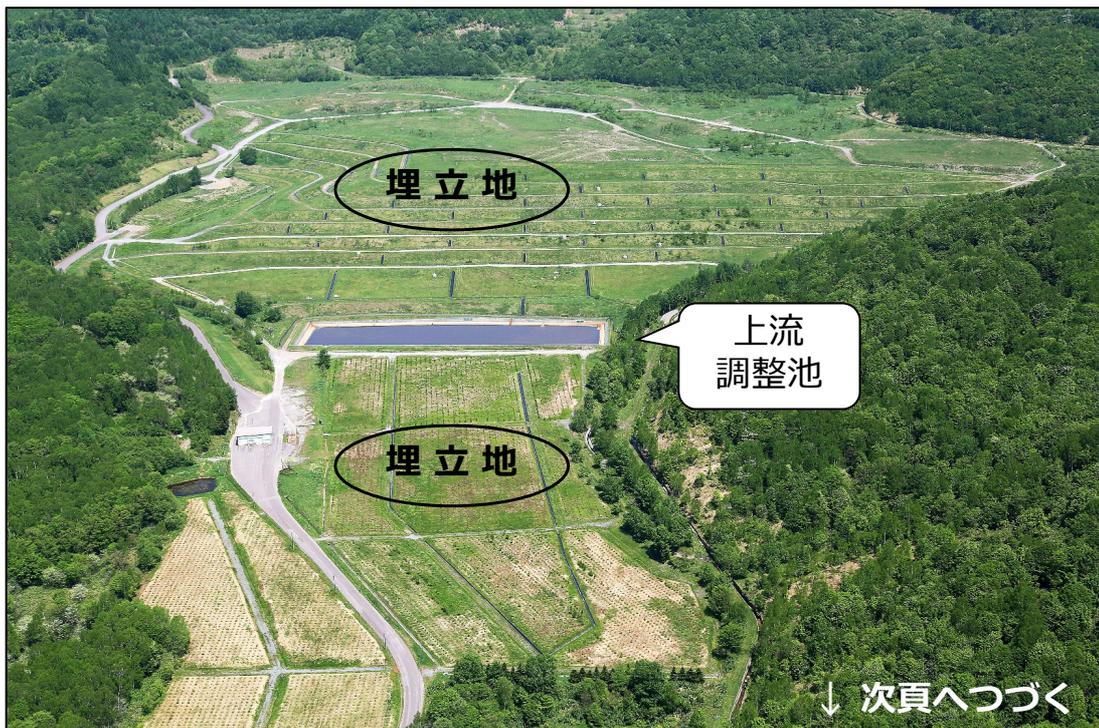


中園廃棄物最終処分場の 管理状況について

1

施設概要 ①



埋立期間：昭和54年6月～平成15年6月（約24年間）

敷地面積：165.8ha

埋立面積：49.8ha

埋立容量：660万立方メートル

2

施設概要 ②



埋立完了から18年が経過し、現在は廃止に向けて「浸出水」の処理と「発生ガス」の監視を実施しています。

3

浸出水 ①

水処理施設



埋立地に降った雨を水処理施設で高度処理後、河川に放流していましたが、令和元年10月に放流水質の自主基準値を見直したことから、現在は塩素滅菌処理のみ実施しています。

施設内



＜自主基準値の見直し＞

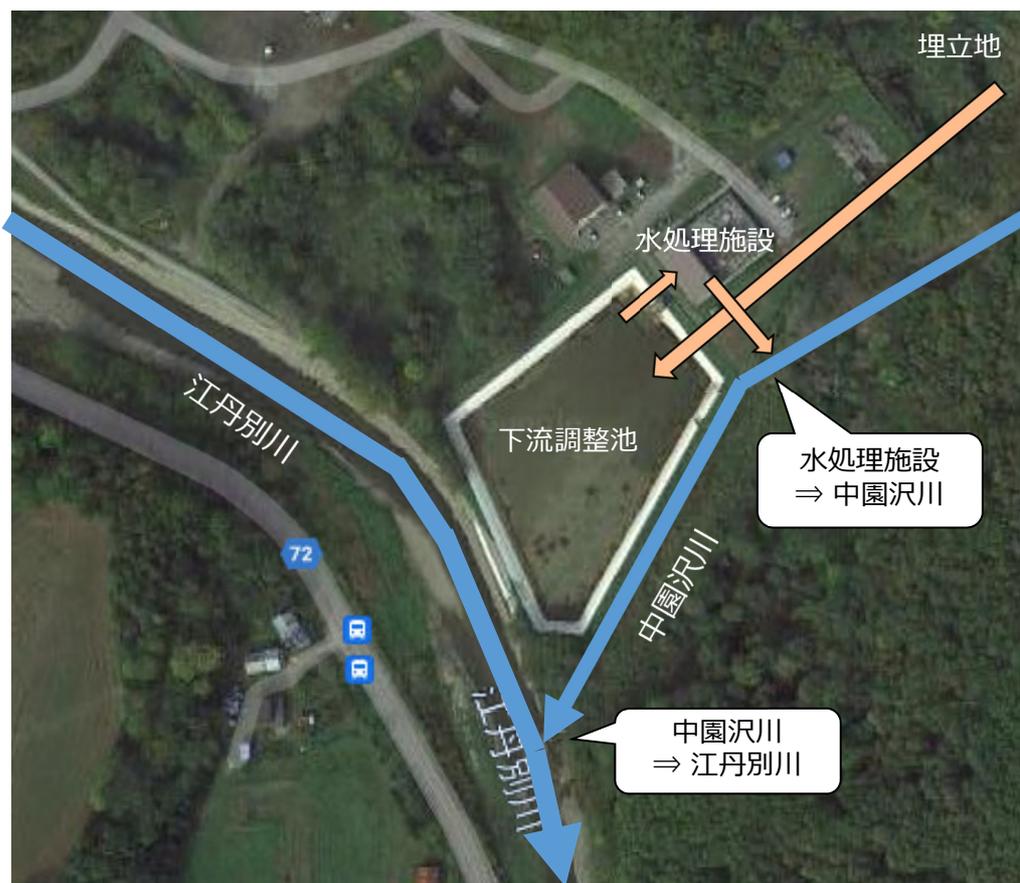
法定基準と同値にしました。

BOD : 20mg/ℓ 以下 ⇒ 60mg/ℓ 以下

SS : 10mg/ℓ 以下 ⇒ 60mg/ℓ 以下

4

浸出水 ②



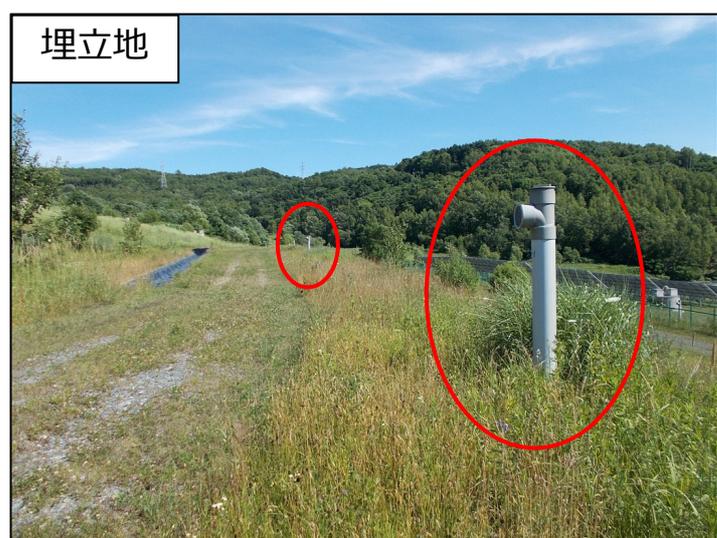
<浸出水ルート>

降雨 ⇒ 埋立地 ⇒
集水管 ⇒ 調整池 ⇒
水処理施設 ⇒ 中園沢川
⇒ 江丹別川

<浸出処理水量 (年間) >

平成30年度 : 521,604m³
令和元年度 : 457,517m³
令和2年度 : 416,218m³

発生ガス



<ガス抜き管>

総本数 : 97本

構造 : φ200mm有孔管 (塩ビ管)

埋立地では、ごみが分解する過程で発生するガスをガス抜き管により、大気中に放出すると同時に、大気中から酸素を取り込んでいます。これにより、埋立地の安定化を促進しています。



太陽光発電



埋立が完了した処分場跡地の有効利用
と地域のイメージアップを目的として、
太陽光発電施設を誘致しました。



<太陽光発電施設>

事業者 : SSJ41メガソーラー合同会社

事業期間 : 平成28年1月から20年間

事業面積 : 66,715m²

(ソーラーパネル 8,304枚)